



二年ぶりのヒュッテ開設

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

冬期ヒュッテの雪下ろし等、設備点検で林道に入り、見てはいけない光景（大規模土砂崩れ）を見てから二年、林道が開通されました。関係各位の御努力、とりわけ森林管理署には深く感謝を申し上げます。

六月二十一日（土）ヒュッテ前広場で、夕張市長・厚谷司様、空知森林管理署署長・武田祐介様、空知総合振興局環境部環境生活課課長・加藤伸一様、地元警察署をはじめ、関係者各位のお祝いを受けヒュッテ開き（山開き）が行われました。



令和7年度夕張岳ヒュッテ開きでの挨拶

道も登山され大変強い思いをしました。また長万部にある修法寺住職伊藤一寛様の山伏姿での安全祈願も行われました。

第123号

2025.07.03 発行

(令和7年)

ユウパリコザクラの会

事務局(菊地)

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

https://www.facebook.com/

yuparikozakura/

山岳信仰にも触れられ、谷間にほら貝の音が響き、厳粛な気持ちになりました。誠に有難うございました。



安全登山祈願 伊藤一寛様の安全登山祈願

林道の雪が融け車が入られるようになってから、ヒュッテ開設の準備に入り、順調に作業が進むと思いきや、ヒュッテ下のゲートの崖崩れが起き、車の通行ができなくなりました。街で組み上げたヒュッテのペラ

ンダの手すり材を人力で六百メートルの運搬は、後期高齢者には非常に辛いものがありました。迅速な森林管理署の修復対応には頭が下がります。また雪解け鉄砲水でヒュッテ前の橋が流され、思わぬ作業がありました。会員の協力で何とか今日を迎えることが出来ました。九月までの管理人の配置が大変ですが、不在にならないように、皆の協力をお願いします。



ヒュッテ周辺には群れから離れたメスのエゾ鹿が良く現れます。警戒心が薄く、人の近くまで来ようになりました。

避難小屋夕張岳ヒュッテも宿泊施設と認定され、消防法などの法律の規定を受けることになり、運営も厳しくなりますが、これも宿泊利用者の安全と考え、積極的に受け入れていかなければなりません。今までもそうでしたが、市教委と一体となって様々な課題を解決していきたいと思っています。

登山者は非日常を求めて山に來ます。様々な思いの登山者に対応することは中々難しい事ですが、少なくとも私たちスタッフが非日常になってはいけません。ヒュッテの設備も複雑、専門的になっていきます。電気設備、水回り設備、衛星電話設備等々、普段街にいと、故障したときは全て専門業者に頼んでいることが、自分でしなればなりません。苦手な人もいると思いますが、最低限一時措置が出来るように、心してもらいたいと思います。極地にいると思ってください。そういう状況を楽しんでください。

二年ぶりの夕張岳、登山者が大勢来ると思いますが、事故のないシーズンを終えることを切に望みます。また保護ロープの切断事件、高山植物の盗掘等ないことを願って止みません。

北海道高山植物保護ネット市民フォーラムに参加・保護ネットの今後について

事務局長 菊地 宏治

昨年11月23日(土)北海道大学農学部大講堂にて、北海道高山植物保護ネット24年度の市民フォーラムが開かれました。メールアドレスを頂いていた会員様には事前にメールにて開催のご案内を出しておりましたが、気がついた範囲で確認したところ、当会からは当日8名ほどの参加があったようです。当会はコアメンバーではありますが、ここ2か年の間保護活動に結びつくような活動ができておりませんでしたので、発表はいたしませんでしたが、地域からの発表の中には興味深い物が多々ありました。

恒例の公演として、人気写真家の梅沢俊氏からの「花の迷宮」と題した植物写真の解説が始まりました。植物がその子孫を残すための工夫などの生態を解説されていて興味深く聴きました。

続いて北海道大学博物館の首藤光太郎氏から「北海道の産地で見つかった日本新産植物とその傾向」という題目の公演、最後に地域からの現状と課題について報告の順番でフォーラムは進行されました。

雨竜沼湿原を愛する会の佐々木純一氏からの発表は切迫感が伝わってきた。この会は自然度の高いこの湿原を守るため、地元

に結成され、定期的に来来植物のセイタカアワダチソウの駆除や、湿原入口に入山者のための靴底の洗い場を設置するなど、様々な保全、維持管理の取り組みを行っています。今回の発表は雨竜沼湿原の増



公演中の梅沢俊氏

えすぎたシカ問題です。雨竜沼湿原は、過去にシカの影響情報はほとんどありませんでしたが、15年頃からエゾシカの食害による影響が確認され始めたことから、その状況を明らかにするための調査を次に示す方法で17、22

年にかけて実施した結果などをベースに解説されています。その中でもゼンテイカの花茎食害率は、花をほとんどつくなかった20年を除いて95%以上と、ほぼすべての花茎が食べられていたということです。

シカの影響が大きいとされる本州の尾瀬ヶ原湿原でも花の食害率が40%であったとの報告があることから、雨竜のゼンテイカの被害の大きさがわかります。他の調査種コバギボウシは81、95%以上の花茎が、ナガボノワレモコウは57、80%の花茎が食べられていました。

夕張岳もシカの食害は多くあります。かつては広大なお花畑を構成していたイワイチヨウはほとんどが食べつくされ、湿原の端にかろうじてありますが、勢いは全くなりませんでした。最近では、エゾカンゾウやシナノキンバイソウが狙い撃ちされて食べられています。最近まで無事だったヒオウギアヤメも今年は全滅(生育初段階で食べられている)が発見されました。石原平のシラネアオイもいまのところ春に咲く花は食べられませんが、秋に結実した実がほとんど食べられるという事態です。雨竜沼では、採食だけではなく、エゾシカの踏圧によってできるシカ道の影響も危惧されます。一度できたシカ道は、エゾシカの生息密度が低下しても、元の状態に回復するまで時間がかかる可能性やシカ道に外来植物が侵入し、別の植生(代償植生)に遷移してしまう可能性がありま

ります。植生が劣化する前に、シカ道が増えないような対策を実施することが重要になってきます。



雨竜沼を愛する会 佐々木純一氏

には、①捕獲によるエゾシカ個体数の削減(捕獲対策)、②植生保護柵の設置などによる採食や踏圧からの防除(防除対策)という二つの対策が考えられます。

エゾシカ対策においてはあまり地域差は関係なく、保全するには、捕獲対策と防除対策を両輪で推進することが重要となってきます。

夕張岳においても特定貴重種においては定期的な調査を行っています。減少著しい種については定性調査も必要になってきていると思いました。

フォーラム終了後、農学部一階で総会が開催されました。出席は、愛甲代表、アポイ岳ファンクラブ、北海道自然保護協会、雨竜沼湿原を愛する会、勤労者山岳連盟、ユウパリコザクラの会、事務局(調査館)でした。

○会計について 決定事項は以下の通り。

・保護ネットでは以前から監査役を置いていないので、口頭による報告とその場で通帳での確認とする。
・23年度は開催しておらず、会費は徴収しない方針だったが、振込があった。該当団体へは返金する。
・24年度以降も、会費は徴収しない方向。

・活動報告者に対しては交通費を支給する。

○今後の活動について(全般)

最近、保護ネットの総会での集まりが悪かったことから、閉鎖の可能性も含めて、今後の活動をどのようにしていくのがよいのか検討を重ねてきたが、本総会においてもその延長で議論された。決定事項は以下の通り。

・今後も、市民フォーラムを中心に続けていく。

・総会は、市民フォーラムとセットで行う。

・若い首藤先生や中村剛先生にも加わってもらおう。

・日常的にSNSを通じて広報を行う。

○市民フォーラムの開催方法について

市民フォーラムの開催方法については検討の余地があるということ、検討が行われた。決定事項は次の通り。

・今後も11月に開催する。

2025（令和7）年度ヒュッテ開きが6年振りに開催

コロナ禍の影響で3年＋林道通行止めの影響で2年の間ヒュッテ開きセレモニーは開催を見送ってきましたが、晴れて2025年度のヒュッテ開きの開催に漕ぎつけることができました。

当日は、ユウバリコザクラの会のスタッフはじめ、沢山の出席者にご来場いただきました。



夕張市 小林教育長の挨拶
(市教委代読)



空知森林管理署 武田署長の挨拶



谷口自然観察員より
登山道と植物の開花状況の説明



修法寺 住職 伊藤一寛様
安全登山祈願



空知総合振興局 環境生活課
加藤課長の挨拶



厚谷夕張市長の挨拶

第1回高山植物&森林パトロールと2年中断していた笹狩り作業

林道通行止めにより、2年中断していた高山植物盗掘防止パトロール（北海道環境生活部自然環境局自然環境課委託）ならびに多様な森に置ける夕張岳森林パトロール活動（空知森林管理署協定）を再開しました。

2年間一般の登山者が来ない状況の中、登山道の状況確認やメンテナンスなどは、会としては行っていないので、かなり現状の状況が心配な部分もありましたが、それほど大きな支障木（倒木）などは無く、胸を撫でおろしました。それでもやはり笹の成長は早く、かなり蔓延りしている場所によっては頭の上を覆い隠す勢いで成長している箇所もありました。

当会で延べ5日間（8人日）で笹狩りを実施して、特に顔付近に当たる笹を中心に、笹狩りを実施しました。山開き後にも2日間実施をしたため、一部の登山者には少しの間、待機をお願いする等、ご協力を頂きましたが、皆様からは逆にお礼の言葉も多々いただきました。笹も刈っておしまいではなく、刈った笹が木道や岩をかくしてしまい、思わぬ転倒事故などが起きないように、障害物の上に落ちた笹の整理も必要になります。



登山道の笹狩り作業（前岳湿原入口付近）

パトロールの方では、第1回のパトロールで恒例となったロープ張り作業（5か所）と支障木（主に灌木）の整理を行いながら、一部の人員は夕張岳山頂まで登

山を行いました。夕張岳においては、積雪量は4月に多く積もった日があり、その影響で雪解けが遅いかと思われましたが、5月中旬からは好天と高温の日が比較的多く、帳尻を合わせたように「例年並み」の状況になった感じです。しかし北海道全体的には、積雪の量も少なく、雪解けは年々早くなっていく傾向が見られます。それに従って、高山植物の開花状況も年々早くなる傾向があるようです。第1回パトロールを行った6月15日は、石原平のシラネアオイは満開、蛇紋岩崩壊地のユウバリコザクラ、シソバキスミレは終盤、吹き通しのユウバリソウは、8分咲きといった感じで、1週間後の山開きには、やや遅いかという状況でした。山開きの日程と雪溪の残り具合の算定（スリップ事故防止）は、毎年悩ましい所であります。



石原平 集合写真



崩落箇所の応急措置



石原平でのロープ張り作業



6/15 だとかかなり雪溪があり、危険な部分も残るが、花は見頃を迎えてしまう



木道崩壊部分に注意喚起標識設置(2箇所)

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
7	9日（水）	官民合同パトロール兼第3回パトロール
	27日（日）	第4回パトロール
8	3日	夕張岳希少種調査（北海道立総合研究機構委託：任命制）
	24日（日）	第5回森林パトロール 高山植物パトロール／登山道補修作業
9	6日～7日（日）	アボイファンクラブとの交流登山（夕張岳：予定）
	28日（日）	第6回森林高山植物パトロール／登山道補修作業（ロープ撤収）
10	4（土）～5（日）	北海道 自然保護連合 交流会 会 主管
	11（土）～13（月）	ヒュッテ冬囲い
11	日時未定	高山植物保護ネット（市民交流会・総会）

※ご参加希望の方は事務局までご連絡ください
※日程は都合により、変更になる可能性があります

第37回ユウパニコザクラの会定期総会（議事報告）

令和7年5月10日午前10時～12時
南部コミュニティセンター 出席：13名
有効会員数：122名（メール案内：65名＋郵送案内：57名）
5月8日を期限の議案および決裁権限委任への異議表明は0件であったので上記参加者による協議で総会が成立するものと判断する。
・司会進行（議長）：菊地事務局長
・代表挨拶 藤井代表
・報告事項 2024年活動報告（菊地） 2024年会計報告（幸村）
・議案1 2025年度活動方針、事業計画案（菊地）
・議案2 2025年度予算案（菊地）
※上記2議案については、賛成多数で承認
・その他検討事項
①ヒュッテ運営の夕張市への移管について
→別の機会に継続協議（関係者協議会の席で打合せ予定）
②空家の譲渡案件
→ヒュッテ管理で手いっぱいの為、丁重にお断りする
・その他
北海道社会貢献表彰（水尾前事務局長）受賞の報告
病気による退任申出（承認）会計監査 武田一生



表彰状を持つ水尾さん（中央）
右：厚谷市長 左：鈴木局長

この活動が認められての表彰には、誠に光栄なことです。多くの皆様に感謝を申し上げます。

同席された厚谷司市長は、スキー場開発計画を止めた当会の活動を振り返りました。平成20年に市営ヒュッテを管理委託した事、小学校の解体材を活用した新ヒュッテを再建させた事、子ども達が大自然と文化を学ぶ体験型居場所創り等にも多大な賛辞を頂きました。当会は草の根の市民運動ですが、本年度で発足36年になります。

永年にわたり道行政が推進する自然環境の保全に尽力されるとともに、自然保護思想の普及啓発に貢献されたその功績をたたえて、空知総合振興局鈴木賢一局長から表彰状が伝達されました。

継続中です。

令和6年度の北海道社会貢献賞自然保護功労者の表彰式は、12月18日に夕張市役所に於いて行われました。フィールドの夕張岳は、道の特別保護地区に指定されており、平成8年、国の天然記念物の指定を受けました。翌年に高山植物の盗掘が発覚した事を契機にして、全道の自然保護団体と連携し、国へ盗掘防止への法整備を要請、関係行政機関が動きました。道は平成10年、高山植物の監視パトロールを強化し、「希少野生動植物の保護条例」を制定。当会は本条例に沿い高山植物の巡視と、高山帯でのエゾ鹿食痕被害調査パトロールの受託事業を継続中です。

北海道社会貢献賞を受賞（自然保護功労者）
前事務局長 水尾君尾

会費の継続納入・ご寄付
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパニコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパニコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託／森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物観察員／文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流／広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテと炊事棟の
維持管理にご支援を！

2年の間、林道での土砂崩れによる通行止めは続きましたが、今年はようやくヒュッテ開きにこぎつけることができました。山にはかつての賑わいが戻りつつあるのを感じています。ヒュッテにおいては冬季間のダメージの修繕や定期メンテナンス等の工事は進める必要があります。皆様からのあたたかい寄付を何卒よろしくお願いいたします。

名義：ユウパニコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

（銀行間振込の場合）

ゆうちょ銀行 二七九店 当座0043747

